



## 2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月5日

上場会社名 株式会社 丸運

上場取引所 東

コード番号 9067 URL <http://www.maruwn.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 荒木 康次

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 小菅 睦司

TEL 03-6861-3419

四半期報告書提出予定日 2020年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	38,189	0.6	690	24.5	814	21.5	639	37.9
2019年3月期第3四半期	38,406	3.4	914	17.8	1,038	18.0	1,029	80.9

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 668百万円 ( 22.0%) 2019年3月期第3四半期 856百万円 ( 20.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	22.15	
2019年3月期第3四半期	35.65	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	40,093	23,109	56.9	789.20
2019年3月期	38,028	22,446	58.8	774.07

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 22,797百万円 2019年3月期 22,360百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		4.00		4.00	8.00
2020年3月期		4.00			
2020年3月期(予想)				4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,100	0.6	1,060	16.9	1,200	16.2	900	30.0	31.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	28,965,449 株	2019年3月期	28,965,449 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	78,193 株	2019年3月期	78,077 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	28,887,328 株	2019年3月期3Q	28,888,016 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報を基礎とした判断及び仮定に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国の経済は、企業の設備投資は底堅く推移しているものの、米中貿易摩擦等の影響による輸出低迷に加え、消費税増税にともなう駆け込み需要の反動減などを背景にやや足踏み状態であり、今後は、中国で発生した新型コロナウイルスの世界経済へ与える影響が懸念されます。

このような状況下において、当社グループは、第二次中期経営計画の最終年度をむかえ、計画の達成に向けてグループ一丸となって励んでおります。

当第3四半期連結累計期間の営業収益は、貨物輸送で価格改定の伸展や昨年度の西日本豪雨影響から鉄道コンテナ輸送が復調しつつあること、また、石油輸送では静岡の配送エリア拡大と構内作業等石油輸送以外での収入増加がありました。しかしながら、国際貨物において米中貿易摩擦等の影響による中国からの輸出の減少や国際航空貨物で半導体関連貨物が低調な荷動きとなったこと、石油輸送においては記録的暖冬のため取扱数量が伸びなかったこと、また、潤滑油の主要顧客での需要減少にともなう取扱数量の減少や化成品での乗務員不足と主要顧客での販売施策の一部変更にもなう取扱数量の減少等による影響を受け、前年同期比0.6%減の381億89百万円となりました。

経常利益は、貨物輸送は営業収益の伸びにともない増益となったものの、国際貨物と潤滑油・化成品が営業収益の減少に比例して減益となったことおよび石油輸送で労務費の上昇と車両更新投資にともない償却費が増加したこと等により減益となり、経常利益全体では前年同期比21.5%減の8億14百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比37.9%減の6億39百万円となりました。

セグメント別の経営成績概況は、次のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、組織体制の見直しにともない「流通貨物」セグメントは「貨物輸送」セグメントに統合しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

#### 《貨物輸送》

当部門においては、価格改定の取り組みで一定の成果が得られたこと、既存顧客への営業拡販や新規拠点開業等により、堅調に業績が伸張したことに加え、昨年度に発生した西日本豪雨の影響により減少した鉄道コンテナ輸送の取扱数量が復調しつつあること、農作物の取扱数量が復調したことにより増収増益となりました。

これらの結果、営業収益は前年同期比2.6%増の191億55百万円、経常利益では前年同期比2億円増の6億81百万円となりました。

#### 《潤滑油・化成品》

潤滑油部門においては、既存顧客での需要の減少にともない配送数量が減少し減収減益となりました。化成品部門においては、乗務員不足による車両不足が解消されず、また、既存顧客の販売施策の一部変更が期初にあったこと等による影響で減収減益となりました。

これらの結果、営業収益は前年同期比3.4%減の39億23百万円、経常利益は前年同期比37百万円減の1億1百万円となりました。

#### 《国際貨物》

当部門の国内事業では、外貿コンテナ貨物は世界経済の減速と内需の停滞により取扱数量が減少し、国際航空貨物は品目別では生鮮食品の輸出が堅調に推移したものの、半導体関連貨物が低調な荷動きになったこと等から営業収益が大幅に減少しました。

海外事業では、米中貿易摩擦による中国からの輸出の落込みや中国経済減速にともなう自動車等個人消費の伸びが鈍化していることを背景に、中国国内での貨物取扱数量が減少しました。

これらの結果、営業収益は前年同期比14.6%減の51億8百万円となり、経常損失は前年同期比2億53百万円減の46百万円の経常損失となりました。

《石油輸送》

当部門においては、記録的暖冬の影響で取扱数量が伸びなかったものの今年度より静岡での配送エリアが拡大したことから配送数量は対前年同期比ほぼ横ばいとなり、また、構内作業等石油輸送以外の収入が増えたことで部門全体では増収となりました。しかしながら、乗務員および作業員の労務費の引上げと車両更新投資にともなう償却費負担等の経費増加影響により減益となりました。

これらの結果、営業収益は前年同期比3.3%増の99億71百万円、経常利益は前年同期比1億87百万円減の1億13百万円となりました。

当期のセグメント別の営業収益及び経常利益は次のとおりです。

セグメント	営業収益	前年同期比	経常利益	前年同期増減額
貨物輸送	19,155百万円	102.6%	681百万円	200百万円
潤滑油・化成品	3,923	96.6	101	△37
国際貨物	5,108	85.4	△46	△253
石油輸送	9,971	103.3	113	△187
その他	30	97.4	△36	54
合計	38,189	99.4	814	△223

- (注) 1. その他の事業は、損害保険代理業及び事務代行業等であります。  
2. 営業収益には、消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

《資産》

当第3四半期連結会計期間末における総資産は400億93百万円となり、前期末に比べ20億64百万円増加しました。この主な要因は、現金及び預金の増加2億21百万円、前払費用の増加1億4百万円、子会社1社を連結範囲に含めたことや栃木第3倉庫完成等による有形固定資産の増加12億12百万円及びソフトウェア仮勘定の増加にともなう無形固定資産の増加4億47百万円等によるものであります。

《負債》

当第3四半期連結会計期間末における負債は169億83百万円となり、前期末に比べ14億2百万円増加しました。この主な要因は、季節差による営業未払金の減少2億00百万円、設備未払金の増加にともなう未払金の増加2億41百万円、システムや設備投資資金等の借入による借入金の増加17億34百万円及び納税による未払法人税等の減少3億7百万円等によるものであります。

《純資産》

当第3四半期連結会計期間末における純資産は231億9百万円となり、前期末に比べ6億62百万円増加しました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を6億39百万円計上したことによる増加、配当金の支払による減少2億31百万円及び子会社1社を連結に含めたこと等による非支配株主持分の増加2億25百万円によるものであります。設備投資等により総資産が増加したことから自己資本比率は前期末の58.8%から56.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績については、本日公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,122	2,344
受取手形及び営業未収入金	7,083	7,153
商品及び製品	2	3
原材料及び貯蔵品	51	66
その他	742	933
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	9,999	10,499
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,702	5,344
土地	16,706	16,908
その他(純額)	3,369	3,739
有形固定資産合計	24,779	25,991
無形固定資産	276	723
投資その他の資産		
投資有価証券	2,174	2,166
その他	928	840
貸倒引当金	△130	△129
投資その他の資産合計	2,972	2,877
固定資産合計	28,028	29,593
資産合計	38,028	40,093
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	3,743	3,542
短期借入金	2,260	3,036
未払法人税等	310	2
賞与引当金	651	347
その他	2,535	2,804
流動負債合計	9,501	9,734
固定負債		
長期借入金	1,617	2,575
再評価に係る繰延税金負債	1,937	1,937
退職給付に係る負債	2,213	2,357
役員退職慰労引当金	37	47
その他	273	330
固定負債合計	6,079	7,249
負債合計	15,581	16,983

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,559	3,559
資本剰余金	3,077	3,077
利益剰余金	12,490	12,899
自己株式	△21	△21
株主資本合計	19,105	19,514
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	648	684
土地再評価差額金	2,811	2,811
為替換算調整勘定	△74	△103
退職給付に係る調整累計額	△130	△109
その他の包括利益累計額合計	3,255	3,283
非支配株主持分	86	311
純資産合計	22,446	23,109
負債純資産合計	38,028	40,093

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
営業収益	38,406	38,189
営業原価	35,186	35,182
営業総利益	3,220	3,006
販売費及び一般管理費	2,305	2,316
営業利益	914	690
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	68	76
その他	82	74
営業外収益合計	155	155
営業外費用		
支払利息	20	20
その他	11	10
営業外費用合計	31	30
経常利益	1,038	814
特別利益		
固定資産売却益	443	61
投資有価証券売却益	-	46
負ののれん発生益	-	7
受取解決金	-	84
その他	1	1
特別利益合計	445	200
特別損失		
固定資産除売却損	1	22
減損損失	7	-
投資有価証券評価損	26	-
その他	-	0
特別損失合計	35	22
税金等調整前四半期純利益	1,447	992
法人税、住民税及び事業税	287	250
法人税等調整額	121	100
法人税等合計	409	350
四半期純利益	1,037	642
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,029	639



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,037	642
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△186	36
為替換算調整勘定	△29	△32
退職給付に係る調整額	35	21
その他の包括利益合計	△180	25
四半期包括利益	856	668
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	851	668
非支配株主に係る四半期包括利益	5	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。